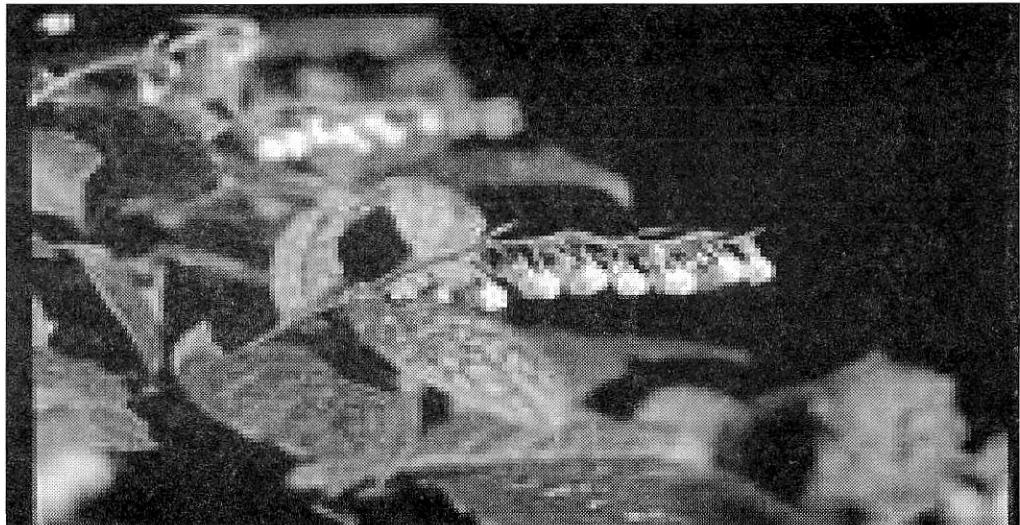


協議会ニュース 106号

愛知県自然観察指導員連絡協議会 2006.5



ナガボナツハゼ 環境省絶滅危惧Ⅱ類、愛知県絶滅危惧ⅠA類

05年の「シデコブシ講演観察会」(渥美自然の会主催)で京都府立大学の平井正志教授から、「DNA分析によればナガボナツハゼ(愛知東部・静岡西部にのみ分布)とアラゲナツハゼ(西日本の日本海側等に分布)の方が、ナツハゼ(全国に分布)に対してよりも、それより近縁である」と教わった。

渥美半島「七つ山」には防火帯整備により維持されている個体が50本程度あり、ここが最も広い自生地と思っている。

●特集 総会

協議会の行事に参加を皆さんのが力を	松尾初P2
平成18年度 通常総会記録	三田孝P3
新役員紹介	P4
講演会「自然観察指導員講習会で学んだことを地域で活かす」		
聴講して 長谷川とし子・吉田孝三	P5
「自然観察会Q&A」に 参加して	大久保恭子P6
・新加入員紹介	P7
・支部だより	P8,p9
・自然観察会～スタッフになろう & 伝え方のヒント	近藤記巳子P10
・理事会だより・事務局だより	P11
・行事案内 他	P12

協議会の行事に参加と皆さんの協力を

会長 松尾初

協議会について

私は協議会に参加して24年になります。だらだらと24年を過ごし、「少し一服を」と考えていましたが、前会長の退任により会長を仰せつかりました。私のような軟弱な人間には気ままに手伝いをしている程度のことが分相応で今になって大変不安になっております。

最近、私が協議会について思うことは、この団体の目的、性質が不明確になっていることです。私たちは自然愛好家の趣味の団体なのか、自分たちの意志で自分にできることを行っていくボランティアの団体であるのか、自然保護活動を行う団体、それとも、組織だって自然保護を啓蒙していく団体なのか、はたまた自然観察指導員という資格（資格ではないですが。）をもった人の支援団体なのか等々いろいろ考えられます。しかし、この協議会はこれら全ての性格をもった任意団体と考えられます。参加している方々も会社員、教師、行政職員、主婦、無職などいろいろです。また、人によって自然保護活動などの考え方についても温度差が激しく、統一した考えでは進めるのが極めて難しい状況にある団体と考えられます。ただし、一致していることは自然観察指導員（資格はともかくとして）であること、自然観察という道具を使って楽しみ、自分の主張をすることだと考えています。

共有化と私物化

最近、気になっていることがあります。例えば私の観察会をしている築水池周辺では歩道の整備のために、歩道周辺の草木を刈り払われていました。この中に私がずっと観察していたオオバウマノスズクサの群落があり、ジャコウアゲハがいつ定着してくれるか楽しみにしていました。私のような自然観察している人間にとってはこの場所への思い入れもあり、つい「ぶつぶつ」と言ってしまいます。しかし、ここを利用してジョギングをしている人にとっては邪魔な草木を払ってもらえて良かったと思っているでしょう。刈り払った行政の職員さんも綺麗になり、役目を果たしたと考えておられると思います。このような事態はオオバウマノスズクサの群落に対する思いで私がその群落について頭の中で「私物化」し、私の方からこうして見ている場所であるという情報を発信していない。また、歩道の周辺を刈り払うという情報が発信されていないといった、お互いに情報を「共有化」する努力を怠ったことに問題あったと考えられます。こういったことは協議会の中でも起こっていると考えられます。

協議会の中でのこの問題の解消方法として、協議会自らも種々の情報を日ごろからいろいろな方法で発信し、そして、会員の皆様もいろいろな意見や思いを発信することが重要だと考えられます。

私たちの会は総勢400名が会員です。先にも書きましたようにいろいろな考え方の人の集まりです。全ての人が同じ方向を向いて進むのではなく、いろいろな価値観を持った人たちがお互いを認めることがこの会にとって必要なことと考えます。前会長の中西さんが会長就任の挨拶の中で「職業も違えば、考え方も異なる人間の集まりです。自然について考える時でも、その方法にはいろいろあるはずです。これしかない、この方法が絶対ではなく、お互いを認めることを基本にしたい。この考えは今までの協議会が貫いてきたことです。」といっておられ、私もこれが基本と考えています。これからも、協議会の行事、支部の行事や、自然観察を通じてお互いの理解を深めながら楽しく長続きする会を熱望します。

平成18年度 通常総会記録

平成18年度通常総会が3月21日(火)にあいちNPO交流プラザにおいて開催されました。第1号から第5号議案が審議され、下記のような質疑の後、すべての議案が承認されました。その後、自然観察指導員として山梨県乙女高原で活躍されている植原彰氏をお迎えして講演をしていただきました。
(記録:三田 孝)

日時 平成18年3月21日(火) 13:00~17:00
場所 愛知県NPO交流プラザ一階会議室

13:08 開会

13:10 会長あいさつ(会長欠席のため副会長(松尾)が代理あいさつ)
理事自己紹介

議長、書記選出 議長:鬼頭、書記:三田

13:15 第1号議案 平成17年度事業報告(近藤)

[質問1] 協議会案内の「リーフレット」を見たことがないが、どうしたら入手できるか?

[応答1] 各支部に問い合わせ(配布済み)
拍手で第1号議案を承認

13:25 第2号議案 平成17年度決算報告(石田)

[質問2] 適正な繰越金額はどのくらいと考えているか?

[応答2] 今年度は記念事業で出費があったが、来年度はない。

[質問3] 「自然観察会費」に保険料、スタンプラー消耗品が込みになっているが、「事業費」にいれるべきではないか?

[応答3] 事業ごとに科目を立てている。

[質問4] 新入会の勧誘活動はしているか?

[応答4] 昨年は11月23日に新人歓迎会を行った。また、協議会ニュースで新人を紹介する。

[質問5] 入会勧説の目標はあるか?

[応答5] とくに数値目標はもっていない。

[質問6] 私は16年に指導員になったが、講習会の終了時に全国の組織の案内をしたらどうかと提案した。

[応答6] NACS-Jは県協議会を「支部」としては扱っていない。愛知で講習会をした時には案内しているが、他県ではしていない。今年はホームページを立ち上げてPRしたい。

[質問7] 愛知県で開催された講習会でも案内は不十分ではないか? 講習会中に時間をとって案内をしたらどうか。また、協議会と支部

の会費の集め方を統一したらどうか?

[応答7] 昨年は時間をとって案内をした。その結果、県内受講者50名の中から45名が入会した。それ以前は少なかった。

監査報告(南川) 会計処理は適正であった。

13:52 拍手で第2号議案を承認

13:54 第3号議案 平成18年度理事・監事承認
(近藤) 新理事自己紹介

拍手で第3号議案を承認

13:58 第4号議案 平成18年度事業計画(近藤)

[修正1] 名古屋支部より②定例観察会に小幡緑地を追加する要請あり。

[質問8] NACS-J主催海岸植物群落調査研修会の定員(30名)超過の場合はどうするか?

[応答8] 受付は地元なので、いくらでもOK

[補足1] 会長より平成19年5月「全国野鳥保護のつどい」への協力依頼あり。

拍手で第4号議案を承認

14:09 第5号議案 平成18年度予算(石田)

[質問9] 保険料の内訳を知りたい。

[応答9] 知多支部のホームページの会員ページに案内があるので参照して欲しい。

後日、詳細を配布します。

拍手で第5号議案を承認

14:20 新会長あいさつ(松尾)

14:22 総会終了

15:00 講演会開始

演題「自然観察指導員講習会で学んだことを地域で生かす」

講師 杉原彰氏(NACS-J自然観察指導員講習会講師)

質疑応答

17:00 閉会

17:30懇親会 旅籠屋

新約員紹介

3月21日の総会で新たに役員・理事に就任された方を紹介します。

岩崎 光明 (監事) 知多支部

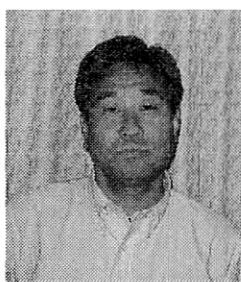
血液型 B型

好きな言葉 マイペース

血液型B型でマイペースとくれば、自分勝手だと思いますが、そのとおりで、妻からは、自分のことしか考えていないといつも怒られています。

今期から監事になります知多支部の岩崎です、監事の話があったとき断る理由を考えましたが、断る理由が見つからず、監事の仕事がどんな仕事なのかよくわからないまま引き受けてしまいました、皆さんの足を引っ張らないように頑張っていきたいと思いますのでよろしくお願いします。

山下 真志 (監事) 西三河支部



はじめまして、このほど監事をさせて頂くことになりました西三河支部の山下と申します。1957年生まれ、双子座のB型です。趣味は間伐です。3年前ですが、ひとりで山の手入れに行ったときにチェーンソーで足を切ってしまいました。「あっ」と思ったときには、ズボンはぱっさりと切れ、やがて赤く染まりました。もうだめかと思った時次の辞世の句?が頭に浮かびました。「間伐と下草刈りに来たけれど、木を伐らずに足切って、草を刈らずに痛かったです」。傷は5針縫いました。抜糸後この傷を見て、娘にこう言いました。「この傷がここ(額)にあつたらハリーポッターなんだが、膝にあるからハリースッターだな」と。双子座のB型です。こんな私ですがどうぞ宜しくお願いします。

永田 孝 (理事:編集担当) 知多支部



知多自然観察会に所属して3年余り。昨年秋にNACS-J自然観察指導員講習を受講し、協議会に入会させていただきました。その後、協議会ニュースの編集をお手伝いさせていただいておりましたが、この度は編集の理事として働かせていただくことになりました。なにぶんにも活動経験の浅い私は、微力ながらお役に立てれば幸いです。また、今年度は協議会のホームページ立ち上げに尽力させて頂きます。掲載内容に関するご意見はメールリストのshizenkansatsu@yahoo-groups.jpまでお寄せ下さいますようお願い致します。HP:<http://www.tac-net.ne.jp/~ngttsk/>

吉田 彰 (理事:調査担当) 西三河支部

このたび県協議会のお手伝いをさせていただきます、吉田 彰@西三河支部です。

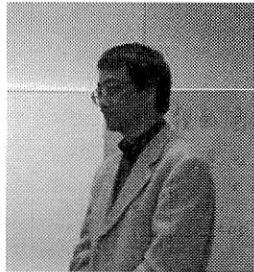
昨年、自然観察指導員講習会のお手伝いをさせていただいて、自然観察とは何なのかと改めて感じさせられられました。ミニ観察会では、5分間という短い時間の中に、より多くの知識や情報を詰め込もうとして、「説明会」になってしまい、自然を観ることを忘れていました。この傾向は多くの生き物の知識の持っている人ほど強いように感じられました。

僕自身は、観察というか何か一つものを観ることよりも、自然の中でただ「ぼーっ」として、自然からの語りかけを感じることが好きなので、個々の生物のことはあまり知りません。僕が今できることは、これまで以上に「開かれた協議会」になるよう、お手伝いすることのように思っています。皆様にご迷惑をかけることが多いかもしれません、よろしくお願いします。

植原彰氏 講演会

「自然観察指導員講習会で学んだことを地域で活かす」を聞いて

名古屋支部 長谷川とし子



乙女高原は、標高 1700m の高原で 11 月上旬に初雪、4 月上旬まで雪が残り、夏でも夜は長袖が必要な環境では、植物が生長するためには、長い時間がかかるそうです。昭和 20 年代から 1999 年までスキー場として管理されていたとのことです。(2000 年 3 月以降はスキー場として利用しないことを決定) 以前からふもとの集落の共有草刈場として草を燃やして灰にして畑にまいたり、牛馬の冬の飼料に混ぜるなど利用され、人の手により高原が森に変わらなかつた今を見て 40 年後を知ることができます。時間の流れと共に自然を見ることができるといいます。時間の流れと共に自然を見ることができるとしてもおもしろいことだと思いました。また、人と自然が仲良く付き合うことの大切さを感じました。

自然観察から始まる自然保護についての話では、「自然観察は、いつでも、どこでも、誰とでも」がとても良かったです。自然保護には多くの仲間が必要だと思います。植原さんは、まず自分が楽しみ、観察会に来た人たちと共に楽しみ、自然は面白いと思えば興味を持ってくれるし、自然に感動し、自然のすばらしさや大切さを知り、人と自然のかかわりを大切にしていくことに気づいてもらいたい自然保護につなげていくといわれました。私もそう思います。なぜなら私自身がそうだったからです。少し前までは、自然をほとんど感じることのない生活を送っていましたが、今は自然を感じることができてとても幸せです。今までの人生よりもおとくな人生になったように思います。

植原さんはひとつの活動であっても、いろいろな側面を持ってみえ、過去と現在が大事で未来へついでいくといわれました。行政・企業・学校などとつながりを持ち、「これはおかしい」とか、「こうしてほしい」などと思ったら、そのタイミングを逃さず訴えかけることが、後々とても大事なことだともいわれました。また、出会いをとっても大切にされているそうです。参加者と何か一緒にしたあとに、みなで写真を撮ったり、ごはんを食べたり、全員がこの日同じ感動を共にした仲間であることを感じて帰つてもらうことの大切さを、植原さんの話のなかで感じました。植原さん、お話をありがとうございました。

『植原彰氏講演会』に参加して

知多支部 吉田孝三

総会後に植原彰氏による「自然観察指導員講習会で学んだことを地域で活かす」の講演がありました。植原氏を知ったきっかけは、私が自然観察会に参加する前の里山活動中で自然観察に興味を持った時、自然観察に関する本を探していく、「いつでも自然観察」を見つけ読んだことです。その後機会があれば、ぜひ講演を聴きたいと思っていたので、今回の講演は非常に興味があり、休暇を取り参加しました。

講演の内容は、植原氏が学生時代から自然観察に興味を持ち、自ら仲間を集め、指導員講習に参加した頃から現在までの活動を通じて、自然観察の重要性そして地域との係わり合いなど経験に基づいた講演でした。

自然観察の重要性、継続の必要性、地域行政への働きかけの重要性などを講演されました。

本の販売もされ、ほぼ完売のようでした。私も含め主な著書 3 冊を持っていない方は購入されていたようです。(現在、次を執筆中のこと)

11 月 11・12 日(犬山 H・Y)のフォローアップ研修にも講師として予定されています。今回以上に、期待します。フォローアップ研修にも出席したいと思っていますので、皆さんも是非参加しましょう。

『自然観察会 Q&A』に 参加して

尾張支部 大久保恭子

3月21日、彼岸にふさわしいおだやかな天気に恵まれ、あいちNPO交流プラザで平成18年度通常総会の前に行われた『自然観察会 Q&A』に参加しました。

西三河支部の三田孝さんの司会のもと活発な話題が飛び交いました。

先ず「これはなに病」ってあるよネ。思わず笑ってしまいます。処方箋としては、
・詳しく説明しすぎると専門的になりすぎてしまう。・今はデジカメで写真が簡単に撮れるのであとで調べる。・ヒントを与えて考えてもらう、という発言に深くうなづいてしまいます。

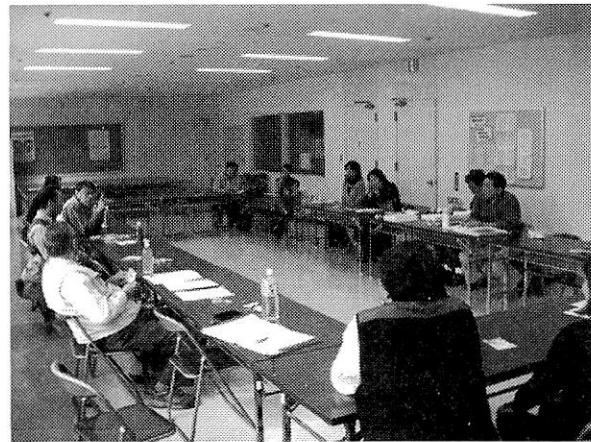
動きの少ない観察物には?の質問にも具体的な事例が幾つもあげられ、更には数学の方程式も出るなど、皆さんの豊かな知識と経験に圧倒されました。話題は発展し、観察会に対する考え方にもそれぞれの想いがうかがえます。

観察は道具。先ず興味を持ち、自然科学に対するステップ・アップとしてもらいたい。そこまで進む人がたとえ一人でも、それを目標としているし、また現実になりつつあるという方がいれば指導員自身が楽しんでこそ、という方がいます。笑い声が絶えないなかにも熱気が伝わります。

たくさんの話題の中で私が覚えておきたいこととして、毒性のわからないもの(キノコなど)を飲み込まなければ安全と思うのは間違いで皮ふ吸収されるので危険という点と、食べることによる事故は協議会でかけている保険の対象外ということです。観察会にあたって、このことは把握しておきたいものです。

すぐにも観察会に役立つ事例もたくさんでたのですが、聞きかじりで記して正確でないと困りますし活発な会話の中でかいまみえた指導員としての本音かと思われるのも、文章にするとニュアンスが違ってしまいます。

これを読まれてとても、物足りないと思われる方にお願いしたいと思います。皆さん、次の機会にはぜひご参加をお勧めします。あんなことも、こんなことも聞けて楽しいですよ。その時に、またお会いしましょう。



完成！

「海上の森自然観察ハンドブック」

すでに総会で報告しました通り、会員の協力で「海上の森の自然観察ハンドブック」が完成しました。ハンドブックは、愛知県からの受託による作成です。この冊子を、本年18年度の研修参加者に配布します。研修は、海上の森をフィールドに5回、室内1回を予定していますので、是非みなさん参加ください。

尚、研修に参加の会員1名につき1冊限りです。複数回の研修参加による重複配布はありませんので、了承ください。

(事務局：近藤)



1月号から掲載が続いてきました新加入員の紹介も今号で最終となりました。みなさんの自己紹介を掲載させていただきます。

名倉 正志（西三河支部）岡崎市

次世代のために動植物と共生出来る自然を残したい。

・参加しているボランティア活動…小呂湿地（第1土曜日）、北山湿地（第3土曜日）木道、柵作り、伐採、除草等の作業に参加しています。

活動に参加しているといろいろな花が目につきますが名前のわからない花が多いので勉強中です。野草図鑑を買いました。

カメラは初心者ですが花の写真を撮り観察会などで説明する時の資料になるような写真を撮りたいと思っています。

・関心の有る自然の分野…山菜採り/うまい野草：オケラ、カタクリ、レンゲ
木：タラの芽、トウダイの芽、タカノツメ

うまれたてのヒヨコ指導員ナグちゃん（66才）です。

皆様、指導下さいますようよろしくお願ひ申し上げます。

西野 友彦（尾張支部）春日井市

このたび尾張支部に加入させていただきました、春日井市在住の西野と申します。よろしくお願ひ致します。

私が子どものころに住んでいた場所は、名古屋市内の繁華街で、当時は今より自然があつたものの、昆虫採集といえば名古屋城へ行き、また、釣りといえば名古屋城のお堀で釣りをした記憶がある程度で、野山や田畠で遊んだ記憶を持っていません。

このような私ですが、自然観察指導員講習を受講する機会を得たことをきっかけに、今まで見過ごしていた身近な自然とふれあうことから、自然の仕組みを学んでいけたらと考えております。

また、植物画に興味があります。どなたか教えていただけるとありがたいです。

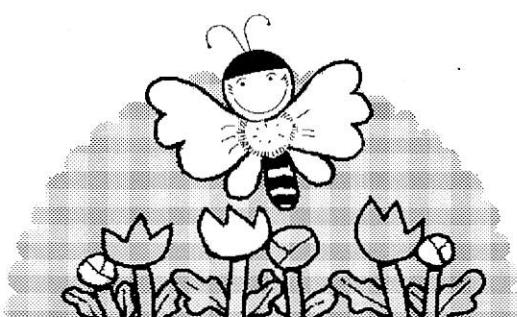
田中 美保子（名古屋支部）名古屋市名東区

名東区の自然散策サポーターをしてい
ます。

私の原点は中学時代の植物部です。

植物を観ながら学校の周囲を歩くのですが、先生の豊富な知識と巧みな話術に、次は何だろうとワクワクしながら歩いていました。植物の名前など、少し知るだけで、ただの雑草が急に親しみ深く感じられるから不思議です。

観察会に参加してあの頃の気持ちを思い出しました。自然と触れ合う喜び。分かち合う楽しさ。心ときめく観察会となるようお手伝いできればと願っています。



東三河自然観察会 総会報告

NPO 東三河自然観察会（愛知県自然観察指導員連絡協議会 東三河支部）の通常総会は2月5日、日曜日、豊橋グランドホテルで開催されました、会員総数83名、出席者36名、書面による委任状提出者が33名ということで、無事、当日の議案を可決終了しました。議案は昨年度の事業報告、収支報告、理事の退任と新任報告、18年度の事業報告ならびに収支予算計画、浜松市からの自然観察会サポート依頼、県営東三河ふるさと公園における自然観察会の運営など多岐に渡りました。

総会の後は恒例の会員の卓話ということで天野保幸さんのタスマニアの自然を画像を入れた楽しい話を聞きました。後は、和気あいあいの四川料理の懇親会でした。（梶野 保光）



西三河自然観察会 総会報告

日 時：平成18年2月12日(日) 14:00～16:30

場 所：安城市民会館

会員18名の参加を得て、会長挨拶後、議事に入る。平成17年度行事報告、会計報告のあと、平成18年度役員の選出、活動計画の検討を行った。

支部主催観察会（香嵐渓、北山湿地、おかざき自然体験の森、亀城公園、油ヶ淵）、定例観察会（昭和の森）、地域定例観察会（境川、閻苅渓谷、おかざき自然体験の森、西尾いきものふれあいの里、平戸橋周辺）、会員研修会（設楽フィールド、日間賀島）の実施が承認された。

今年度は定例観察会を「昭和の森」に移して年4回行うこととした。

正式な会則も新たに承認された。

議事終了後、協議会25周年記念事業講演会、研修会の報告を兼ねて1.野外での安全、2.フェノロジーの研修報告を行い、意見交換をした。

平成18年度の行事計画の詳細はホームページ（www.mita.2y.net/nature/nishimikawa）をご覧下さい。

（三田 孝）

奥三河自然観察会 総会報告

18年度の奥三河支部の総会は、1月22日に行われました。

桜渕公園を、豊川が二分していますが、川にはカモ類の野鳥がいっぱい羽根を休めています。その公園の一角にある例年お世話になっている新城観光ホテルで、総会は小山さんの司会で進められました。

会長の挨拶が終わり、「博物館の現況と展望」と題して鳳来寺山自然科学博物館の加藤学芸員の話があり、協議事項に入りました。

17年度事業報告が小山さんより報告されました。昨年度の総会から支部研修会(はげ岳)、ふるさと親子自然観察会(四谷千枚田)、支部観察会(茶臼山と砦山)、県協25周年記念事業(名古屋)、支部交流観察会(知多支部)

次に17年度会計報告がされ、以上2議案を議場に承認を求め、了承されました。

第3号議案は、18年度事業計画で、例年、いくつかの案を議場にだして、全員で検討をしているので、今回は、7つの候補を出して、時間をかけて討論をしました。

結果、ふるさと親子自然観察会は加藤学芸員の協力をとて、「鳳来寺山自然科学博物館と周辺ガイドツアー」に決定しました。支部観察会は、「桜渕とウテコギ山」に決定。支部研修会は、「兵越峠—青崩峠」に決まりました。また、番外として「カタクリとザゼンソウ」を見に行くことにしました。

次に会計予算を決め総会を終了しました。

昼食をとつて解散しました。

(村上 和彦)

知多自然観察会 総会報告

2006年度知多自然観察会総会が2月19日(日)に阿久比町のエスペランス丸山において開催されました。

約50名の会員の参加を得て、05年度行事報告、同会計報告、会則の制定、役員の選出、各市町代表、ホームページ作成等担当者の分担、06年度の支部行事活動計画、県関係行事などの議案、提案が審議されました。会則について、知多自然観察会と協議会の支部との関係に触れる必要があるのではないかと質問がありましたが、今は仮の内容で今後入れる方向で検討することとし、会則を含めすべての議案、提案が承認されました。

新年度の支部役員は次のとおりです。

- 顧問：加藤寿芽、原穂
- 代表：降幡光宏
- 副代表：南川陸夫(庶務)、榎原靖(行事)、榎原正躬(広報)、牧野靖子(会計)
- 会計監査：山田絹子

総会後、みんなで昼食をとり、懇親会でスライドショーを楽しみました。

今回の総会では、初めに知多自然観察会ホームページの観察会活動の記事を元にした年報(会報)を作成し、総会参加者全員で製本しました。短い時間で作成でき、郵送料なども省けてよかったです。

(吉川 洋行)

自然観察会

～スタッフになろう！
& 伝え方のヒント～

名古屋支部 近藤記巳子

■スタッフになろう

太陽の方向を向いて

参加者すべてに

スタッフとなっての第一声は、どんな内容で
しよう。

「参加者の方は、こちらで受付をお願いします」
「観察会の年間スケジュール表、こちらに用意
しています。必要な方はどうぞ」

以上は、いづれも受付という定まった場所で
の声かけになりますね。

では観察会スタート後は、いかがでしょう。
観察ポイントで話をするときには、いくつかの
注意が必要です。観察会も後半になると、しつ
かりリーダーについてくる人、ゆっくりマイペ
ースの人などさまざまです。対象となるもの
をいかに参加者に観察してもらうか、立つ場所や
声の大きさなども考える必要があります。周囲
の参加者のみに話をするのは、避けたいもの
です。是非大きな声で、「こちらに注目してくだ
さい」などと呼びかけをし、参加者全員が対象の
ものを観察しできるように配慮したいもの
です。(ただし、班分けを行っている場合は、担当
の班のみでOKです) どんなものであっても、
共有がなされないと「残念！」とか、「私は見
ていない」という思いが募ることになります。ま
た、私たち指導員が太陽の方向をむき、もっと
も遠い場所にいる参加者にもよく通る声で話す
ようにしましょう。つまり参加者が太陽に背を
向けることになり、まぶしさを感じることなく
快く話に耳を傾けてもらうことができる状況を
設定することです。

観察会での話し方は、「参加者全員に、情報
が伝わる話し方をすること」です。

「きょうは、楽しかった」

「来月も参加します」

お聞きには、そんな声を聞きたいものです。

私たち指導員も、よかったです、がんばるぞ！と、
思いながら帰路につきたいですね。



■伝え方のヒント

調査について

参加者に伝える情報の多くは、私たち自身が
フィールドで感動したことや、不思議な現象に
神秘性を覚えたことなどを、観察会当日に体感
してもらうことが中心でしょうか。一步進んで、
調査から得たものを参加者に伝えてみましょ
う。私たち相生山緑地自然観察会のメンバーは、
毎年5月にヒメボタル調査を行います。観察す
るために、午後9時過ぎから午前2時、3時
になるためメンバーの有志のみの調査です。ま
た夜明けまで調査することもあります。調査の
内容は、初見日・終焉日のチェック、生息分布
調査、発光数等々です。

調査を始めて間もない頃のことです。ヒメボ
タルの活動時間帯は深夜にピークを迎え午前2
時～3時頃まで発光を続けるといわれてること
に、ふつと疑問がわいたのです。さっそく、オ
ールナイト調査開始です。1時間ごとに発光数
のカウントをとりました。1年目と2年目の
データでは、発光数のピークの時間帯が違
いました。また、午前3時をすぎても、何頭も発
光しているヒメボタルが観察できました。それ
以外にも思わぬ発見があり、予想以上の成果を
得ることができました。調査によって得た知見
は、私たち指導員が自信を持ち、かつ思いをこ
めて話すことができます。単に知っているとい
うことと、調査から学んだものは、それだけ大
きな違いがあるということです。

疑問に感じたことを、調査してみませんか。

■理事会記録

4/22（土）13:30～17:00 於・名古屋市教育館
出席者：松尾初 鬼頭弘 石田晴子 岩崎光明
大谷敏和 近藤記巳子 斎竹善行
佐藤国彦 永田孝 堀田守 山下
眞志 山田博一 吉川洋行 吉田
彰 滝田久憲 三田孝 村上和彥
欠席：3名

議長：松尾初

記録：近藤記巳子

◆議題

1. 18年度運営について

①役割分担

会計：石田	事務局：近藤
研修及び受託：大谷（副・山下）	
名簿管理：斎竹	編集及びHP：永田
企画：堀田	観察会：山田
自然保全：吉川	調査：吉田（副・松尾）
②理事会日程及び議題について	
第1回 4/22（土）	運営他
第2回 8/5（土）	中間報告他
第3回 11/23（木・休）	次年度事業計画決定 (含・総会講演講師)
第4回 1/20（土）	総会次第決定
第5回 2/10（土）	総会議案決定 (決算・予算)

総会 3/21（水・休）

（平成19年度：第1回理事会 4/7（土））

2. 観察会の旗の作成について

サイズ・材質・文字・横型・縦型などの検討を、
次回行う。現在使用しているものをサンプルとして持参。次回理事会に意見調整をし、発注することを承認。

3. 保障内容・手続きについて

観察会担当者に郵送済。

4. 受託事業「海上の森の四季」ハンドブック

配布について

すでに総会で報告した通り、会員の協力で完成。愛知県の作成部数は1,000部。かつての作成部数に比較して少數になっているので、会員数を希望することは不可能。100部は増刷り購入し、約200部を入手。本年18年度の研修参加者に配布予定。

5. 受託事業「海上の森の四季」夏作成について

研修担当者で打ち合わせ後、去る4/15（土）に執筆者の顔合わせ及び会議開催報告及び今後の予定報告。監修は、協議会会員で行うことを承認。

6. 5/28(日)海岸植物群落調査研修会 (NACS-J主催)について

研修のフィールドとなる知多支部会員を中心
に協議会が協力。研修参加費は無料のため、多数
の参加が望まれる。NACS-Jからは、準備として
スクリーンの手配・参加者名簿作成などの協力要
請あり。

その他、当日は協議会参加者でサポートを行
うことを承認。

7. 理事会記録について

現在、機関紙にて理事会記録を掲載している
が、協議会運営の理解促進、またリアルタイムで
の情報の共有のため、自然観察MLに理事会記録
の書き込みを行うことを承認。

○報告①平成19年5月に第61回愛鳥週間「全
国野鳥保護のつどい」が愛知県で開催される。こ
の行事に向けて実行委員会が組織され、愛知県自
然観察指導員連絡協議会からは今後松尾初会長
が出席予定。

○報告②NACS-Jに会長の交代及び主な今年度
事業計画を報告。



■発送用封筒について



「協議会ニュース」発送を、昨年度より再使
用封筒にて送付を始めて1年になりました。毎回
400通、年間2,400通を発送し、昨年度はそのうち
約1,400枚を再使用封筒で発送しました。これ
によりごみの発生抑制になり、二酸化炭素排出量
を減らすことができました。また、封筒の単価は
10円ですから14,000円の経費節減となったわけ
です。会の運営のために有効利用をしたいと思
います。

さて3月の総会では、うれしいことが2件あり
ました。1件目は、当日のゲスト植原彰氏から届
いた資料の封筒は、なんと再利用のものでした。
2件目は、知多支部の男性会員が「これ、使える
るかな」と、持参してくださったのは何枚もの封
筒でした。「おふたりに拍手！」ですね。

自然のすばらしさ、大切さを伝えるのが私た
ち自然観察指導員の使命のひとつです。フィール
ドに限らず、暮らしのなかでも心掛けていきたい
と思いますので、今後もご協力・ご理解をお願い
します。

（事務局：近藤）

行事案内

ふるさと親子自然観察

集合	集合場所	テーマ	問い合わせ先
5/13(土) 9:30	常滑市鬼崎海岸 蒲池漁港 P	海辺の生きものを見よう 注:サンダル禁止	0569-22-4660 山田
6/10(土) 10:00	新城市門谷森脇 合鏡 P	自然科学博物館& 周辺ガイドツアー	0536-35-1001 加藤
6/11(日) 9:15	自由ヶ丘 バスターミナル前	里山の自然にふれよう 注:参加者は事前申し込み	052-223-1066 エコパルなごや
6/25 (日) 9:30	美浜町富具崎港 P	海岸の生きもの 注:サンダル禁止	0569-87-0725 森田

フォローアップ研修 (「海上の森自然観察ハンドブック」配布: 詳細は p 6 参照)

開催日時	集合場所	テーマ	問い合わせ先
6/24 (土) 10:00~15:00	海上の森入口 P (旧銭屋鉱産跡地)	午前: 葉のつきかた 午後: 陸貝について	0572-23-6907 大谷敏和

■ 編集部からのお知らせ ~サポートの協力を!~



～編集・校正・発送～

「協議会ニュース」は年 6 回発行し、協議会運営・行事などの連絡及び情報交換の場となっています。この機関紙に係ってくださる会員を募集中です。

現在、編集 4 名、発送 3 名で作業をしていますが、人的にも、時間的にも厳しいものがあります。「協議会ニュース」発行継続のために、是非、みなさんのサポートをお願いします。

- ◆編集: ワードによる編集他、デジカメ写真・イラストなどのトリミング・挿入作業が可能な方。
- ◆校正: 主として誤字・脱字の訂正。
- ◆発送: 封筒に宛名シールを貼付し、機関紙などを封入する作業。
- ◆「サポートするよ!」の声、お待ちしています。

編集部: 齋竹善行 [E-mail BZA03620@nifty.ne.jp](mailto:BZA03620@nifty.ne.jp)

事務局: 近藤 [E-mail konkimi@nifty.com](mailto:konkimi@nifty.com)

表紙「ナガボナツハゼ」

写真・文: 大羽康利

編集スタッフ

岩沙 雅代、近藤 記巳子、齋竹 善行
永田 孝、古川 俊江、横井 邦子、
吉田孝三

協議会ニュース編集部
〒470-2401 知多郡南知多町
布土明山 299-2
永田孝

愛知県自然観察指導員連絡協議会 事務局

〒457-0006 愛知県名古屋市南区鳥栖 2-6-17 桜本町 CH101

近藤 記巳子 Tel/Fax 052-822-7460